

議 事 録

件 名	第 2 5 回 児 童 虐 待 防 止 対 策 委 員 会
日 時	令 和 2 年 5 月 2 5 日 (月) ～ 令 和 2 年 6 月 5 日 (金) 【 書 面 協 議 】
参 加 者	吉岡委員長、佐田副委員長、早川委員、菊池委員、重永委員、下川委員、若林委員、刈茅委員、野口委員、川上委員、清水委員、深堀委員、寺松委員、薄委員
次 第	<p>1. 報告事項 (1) 令和2年度の主なスケジュール</p> <p>2. 協議事項 (1) 平成31年度取り組み実績及び令和2年度取り組み方針(案)について</p> <p>(2) セーフコミュニティ実態調査について</p> <p>(3) セーフコミュニティ活動推進事業所連携事業(仮称)について</p> <p>3. その他</p>
事務局	<p>1. 報告事項</p> <p>委員名簿の訂正です。久留米市私立幼稚園協会の早川委員の役職名を「教育研究委員長」から「教育研究委員」に訂正します。</p> <p>委員変更の連絡です。令和2年6月5日付けで久留米市保育協会の委員を「かおり保育園 菊池良明園長」から、「篠山保育園 足立善一郎園長」に変更します。</p> <p>よろしくお願ひいたします。</p>
委 員 事務局	<p>(1) 令和2年度の主なスケジュール</p> <p>意見なし</p> <p>今後、新型コロナウイルスの感染状況等により、予定を延期又は中止する場合があります。ご了承ください。</p>
委員 1	<p>2. 協議事項</p> <p>(1) 平成31年度取り組み実績及び令和2年度取り組み方針(案)について</p> <p>・コロナ禍の状況下で令和2年度の取組みが実施できるのか。新たな取組みができるならば、人の集まる事業ではなく、相談体制やSNS等を活用する事業ができれば良いと考える。</p>
委員 2	<p>・赤ちゃんふれあい体験事業の実施校拡大については、取組みの手法について検証を進めるとあるが、教育委員会及び校長会との連携が必須だと思う。是非、協力を要請していただきたい。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>
委員 3	<p>・2-①新生児訪問事業の地域連携の指標で、【中期】態度・行動が2017年までは100%だが、2018年、2019年と割合がすごく低くなっているのはどうしてか。新生児家庭への訪問の拡大を図ることは良いことだと思う。</p>
事務局	<p>2017年までの数値は、「同行訪問後に何かしらの形で子育てサロンにつながった数」を見て100%としておりましたが、2018年度より「同行訪問後に実際に子育てサロンを利用した数」を数値として挙げるようにしたため、数値が大きく変わっています。また、割合が低い理由は、育休中のお母さん方が多く、子育てサロンを利用する前に保育所に入所するためと考えられます。説明不足な点をご質問いただきありがとうございます</p>

	<p>ございました。今後も関係機関との協議を行いながら、新生児同行訪問の実施拡大を図りたいと考えます。</p>
委員 4	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度の新生児同行訪問件数の増加理由として1点目に出生人口の増加を挙げられているが、人口動態では増加していない（減少している）。増加の理由としては、事務局が主任児童委員さんのスケジュールを早めにもらい、その上で訪問の日程調整ができるようになったことが大きな要因だと認識している。
事務局	<p>同行訪問担当者に聞き取りを行い、書面会議の添付資料に「2019年度の同行訪問件数が2018年度より増えた理由は、校区の出生人口の増加と、校区担当の主任児童委員が増えたため」と記載しておりましたが、確認したところ、出生人口は増加でなく減少していました。委員4のおっしゃるとおり、増加の理由は主任児童委員さんの同行スケジュールの日程調整を早めに行ったことが大きな要因であると考えられます。ご指摘ありがとうございました。</p>
	<p>(2) セーフコミュニティ実態調査について</p>
委員 1	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度実施となることはよかった。アンケート内容等は改めて議論ができるようにしてほしい。
委員 5	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの視点、あるいは子どもの権利条約の視点から考えても子ども参画のチャンスが用意されていないことが残念である。市民意識調査には13歳以上の「市民」（当事者）にも調査の幅を拡充して欲しい。
委員 3	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局案に賛成します。
事務局	<p>ご意見いただきありがとうございます。当委員会での意見として協議会事務局に連絡いたします。セーフコミュニティ実態調査の質問項目の最終決定については、協議会事務局が行うため、ご意見が反映されないこともありますのでご了承ください。</p>
	<p>(3) セーフコミュニティ活動推進事業所連携事業（仮称）について</p>
委員 5	<ul style="list-style-type: none"> ・書面だけではよく理解できなかった部分があった。
委員 3	<ul style="list-style-type: none"> ・セーフコミュニティのそのものの意味が市民にまだ認知されていないように感じる。こういった事業に取り組んで多くの市民に周知・啓発していくことは、今後大切なことだと思う。
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。当委員会の意見として、協議会事務局へ連絡いたします。</p>
	<p>3. その他</p>
委員 1	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時に社会の課題が炙り出される現状で、対策委員会の取組みでなくても、市が新たに行う施策等の情報が知りたい。
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。新たな施策については、市ホームページ等でお知らせをしております。今後は、対策委員会開催時に併せて情報提供が行えるよう検討します。</p>

委員 6

・今年度の流動的な時世の中、大半の事業が中止や延期により具体的な活動が行われていません。今年度後半から来年度に向けての事業の立て直しが大変だと思っています。

事務局

今年度前半は具体的な活動ができておらず、後半についてもまだ検討中ではありますが、実施が厳しい現状であると考えます。来年度の事業の継続のため、引き続き関係機関との連携を行い、また委員の皆様の見解を参考に、事業の効果的な実施方法の検証を行いたいと考えます。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。